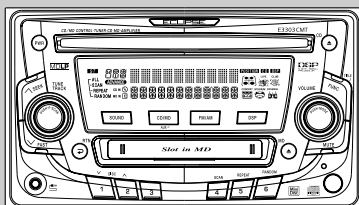


ECLIPSE

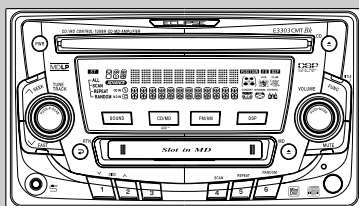
マルチコントロール CD/MD メインユニット

取扱説明書

E3303 CMT



E3303 CMT *Bk*



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機はDC12V⊖アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
(ボタン電池)
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。

警告

- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に、CD・MD等の交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。

注意

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **アンプ放熱部に手を触れないでください。**
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- **乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- **指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となります。
- **電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス＋・マイナス－〉に注意し、表示通りに入れてください。**
電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

注意

- **使い切った電池はすぐに交換してください。**
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。**
- **リチウム乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。**
他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- **電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れないでください。**
電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- **リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**
ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。**
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。**
火災の原因となることがあります。
- **長時間歪んだ状態で使用しないでください。**
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- **本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- **万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目 次

使用上のご注意	8
本機をお使いになるうえでのお願い	8
CDについて	10
CDの清掃	12
MDについて	13
MDの清掃	14
各部の名称	15
基本操作	16
電源を入れる/切る	16
CDを聞く	17
MDを聞く	17
ラジオを聞く	18
音量を調節する	19
オーディオコントロールモードを切り換える	20
LOUDNESSを切り換える	21
ファンクションモードでの設定	22
テレフォンミュートの切り換え	25
CD部/MD部の操作	26
CD/MDを聞く	26
次の曲に進む/曲の頭に戻る	27
早送り・早戻しする	27
曲の始まりを演奏する(SCAN)	27
繰り返し演奏する(REPEAT)	28
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	28
MDLPモードでグループ編集されたMDの操作	29
ディスクを取り出す	31

ラジオ部の操作	32
ラジオを聞く	32
自動的に放送局を記憶させる	33
手動で放送局を記憶させる	33
記憶させた放送局を確認する	34
放送局名を表示する	34
FM放送について	36
 DSP/サウンド調整モードの操作	 38
サウンド調整モードについて	38
サウンド調整モードの切り換え	42
サウンド調整モード(通常モード)での操作	42
サウンド調整モードの切り換え	46
サウンド調整モード(ADVANCEモード)での操作	46
 (別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを 接続したときの操作	 58
ディスクモードに切り換える	58
次の曲に進む/曲の頭に戻る	59
早送り・早戻しする	59
曲の始まりを演奏する(SCAN)	59
繰り返し演奏する(REPEAT)	59
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	60
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	61
演奏するディスクを指定する	61
MD演奏時の表示を切り換える	62

(別売)リモコンの操作	63
使用上の注意	63
清掃について	63
電源を入れる/切る	64
音量を調節する	64
機能を切り換える	64
ラジオ利用時の操作	65
CD,MD利用時の操作	66
電池を交換する	67
その他の操作	68
ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する場合	68
(別売)ハンズフリーユニット(E301HF)を組み合わせる場合	69
困ったときは	70
インフォメーションが点滅する	71
仕様について	76
アフターサービスについて	78

使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い



- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。
- ・本機は左のマークのついたCDのご使用をお勧めします。
- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。
- ・MP3ファイル形式のCD-R/RWは再生できません。
- ・本機はMDLP(LP2モード/LP4モード)に対応しています。



- ・ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。

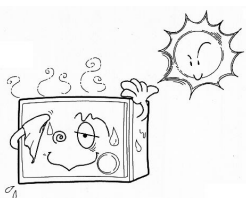




- ・悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



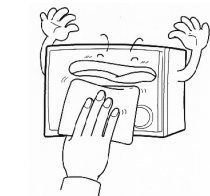
- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げってから本機をお使いください。



- ・湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザ光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



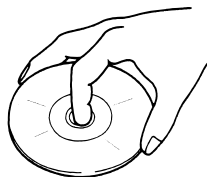
- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



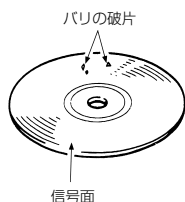
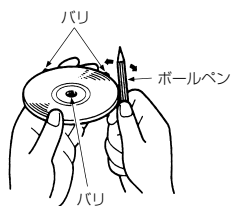
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



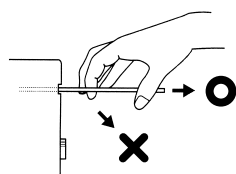
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



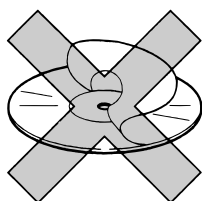
- ・信号面に触れないように取り扱いってください。



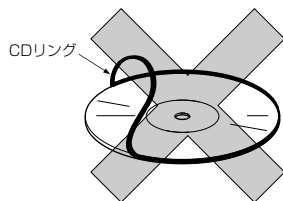
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



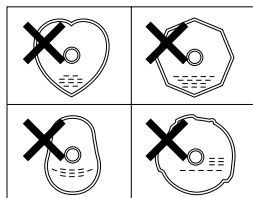
- ・本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



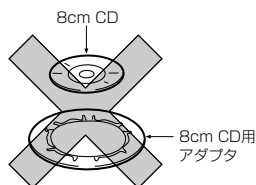
- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないください。

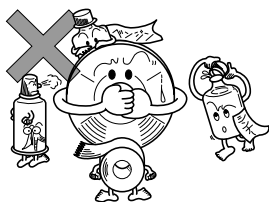


- ・本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できません。
- ・8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

CDの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



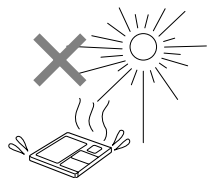
- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



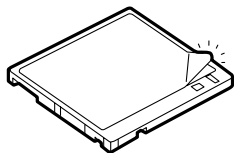
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

MDについて

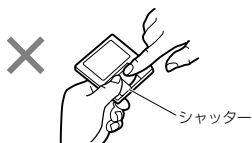
いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



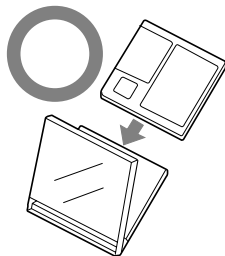
- ・MDは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。

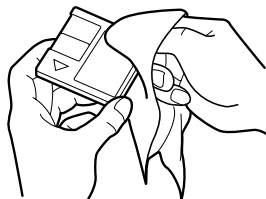


- ・MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・MDは、ケースに入れて保管してください。

MDの清掃



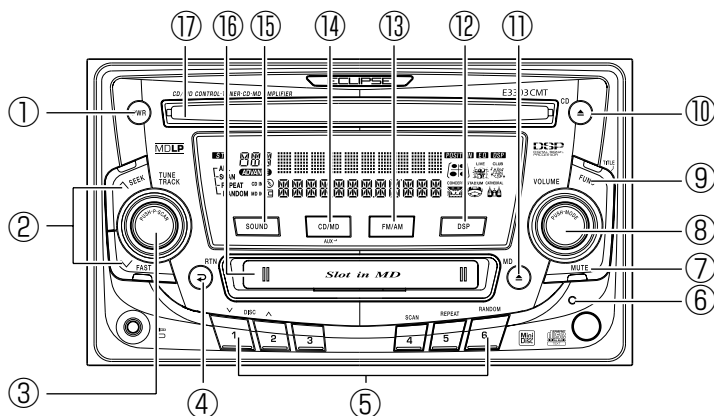
- ・ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。
- ・MDのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。(CD部/MD部の操作 26ページ、ラジオ部の操作 32ページ、DSP/サウンド調整モードの操作 38ページ)

操作手順はE3303CMTのイラストで説明しています。

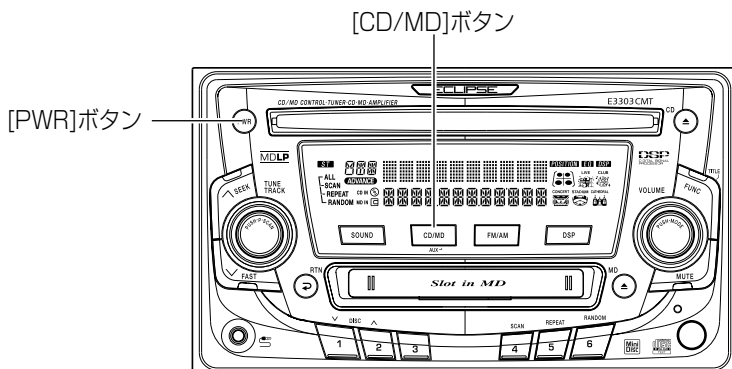
E3303CMT Bkでも同様の操作ができます。



①	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
②	SEEK△/FASTVボタン	ラジオの放送局の選択やCD,MDの早送り・早戻しを行います。
③	TUNE/TRACKボタン	ラジオの放送局やCD,MDのトラックを選択するときに使います。
④	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。
⑤	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑥	リセットボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
⑦	MUTEボタン	消音または消音の解除を行います。
⑧	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やその他の機能を操作するときに使います。
⑨	FUNCボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑩	▲(CDイジェクト)ボタン	CDを取り出すときに押します。
⑪	▲(MDイジェクト)ボタン	MDを取り出すときに押します。
⑫	DSPボタン	DSPモードへの切り換えを行います。
⑬	FM/AMボタン	ラジオのバンド切り換えを行います。
⑭	CD/MDボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
⑮	SOUNDボタン	サウンド調整モードへの切り換えを行います。
⑯	MD挿入口	MDを挿入します。
⑰	CD挿入口	CDを挿入します。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。



電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。
ACCポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。
電源を切るときは、手順2または手順3にしたがって操作してください。

- 1 電源がOFFの状態で[PWR]ボタンを押す**
電源がONになります。
- 2 電源がONの状態で[PWR]ボタンを短く(1秒未満)押す**
電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。
- 3 電源がONの状態で[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押す**
電源がALL OFFになります。

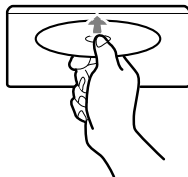


欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押して電源をOFFにしてください。
バッテリーが上がる恐れがあります。

CDを聞く

1 CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する

CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。

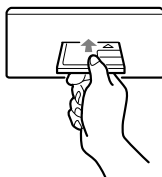


すでにCDが挿入されているときは、CDプレーヤモードになるまで[CD/MD]ボタンを押してください。

MDを聞く

1 MD挿入口にMDを挿入する

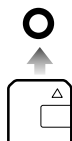
MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。

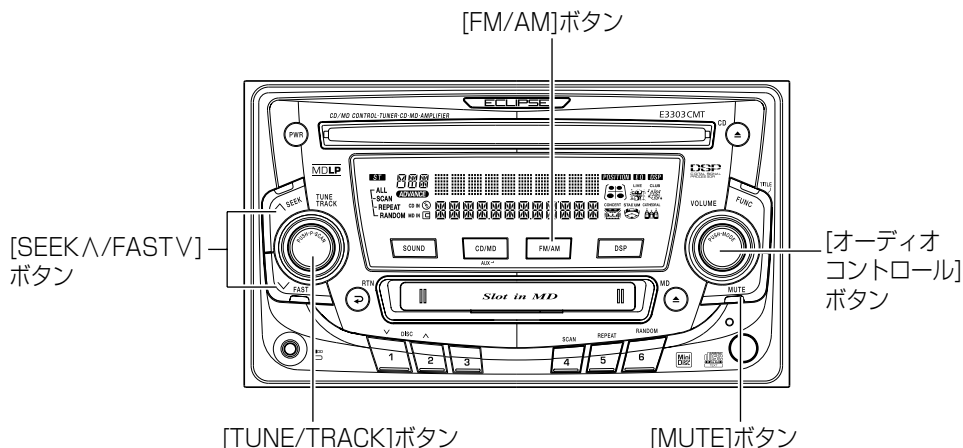


すでにMDが挿入されているときは、MDプレーヤモードになるまで[CD/MD]ボタンを押してください。



MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。





ラジオを聞く

1 [FM/AM]ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM]ボタンを押しFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [SEEK△/FASTV]ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[SEEK△]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[FASTV]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

音量を調節する

1 [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

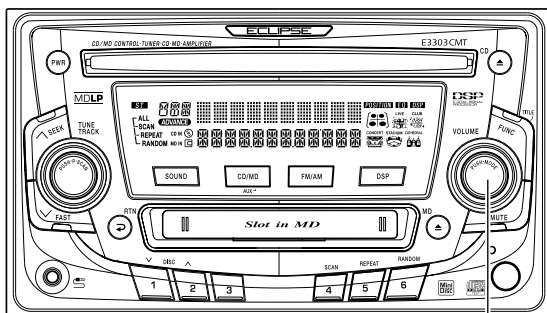
右に回す ……音量が大きくなる

左に回す ……音量が小さくなる

瞬時に音量を小さくする

1 [MUTE]ボタンを短く(1秒未満)押す

音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを短く(1秒未満)押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右側に回します。
(別売りのハンズフリーユニット接続時は[MUTE]ボタンを長めに(2秒以上)押してください。)



[オーディオコントロール] ボタン

オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整が行えます。

1 [オーディオコントロール]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

VOL → BASS*1 → TREB*1 → BAL*2 → FAD*2 → NON-F*3



※1 ADVANCEモード時は、調整できません。(46ページ参照)

※2 ポジションセレクトがONの時は調整できません。
(43、52ページ参照)

※3 ノンフェダー出力は、BASS、TREBLE、ラウドネス、イコライザでの調整内容を反映しません。

VOL(VOLUME)モード

VOL(音量)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを
右に回す ……音量が大きくなる
左に回す ……音量が小さくなる

BASSモード

BASS(低音)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを
右に回す ……低音を強調する
左に回す ……低音を弱める

TREB(TREBLE)モード

TREB(高音)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……高音を強調する

左に回す ……高音を弱める

BAL(BALANCE)モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……右のスピーカーを強調する

左に回す ……左のスピーカーを強調する

FAD(FADER)モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……前のスピーカーを強調する

左に回す ……後ろのスピーカーを強調する

NON-F(Non-FADER)モード

ノンフェダーレベル(接続されたサブウーファなど)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……レベルが大きくなる

左に回す ……レベルが小さくなる

ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量で聞くとときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

- 1 「LOUD ON」と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを押す



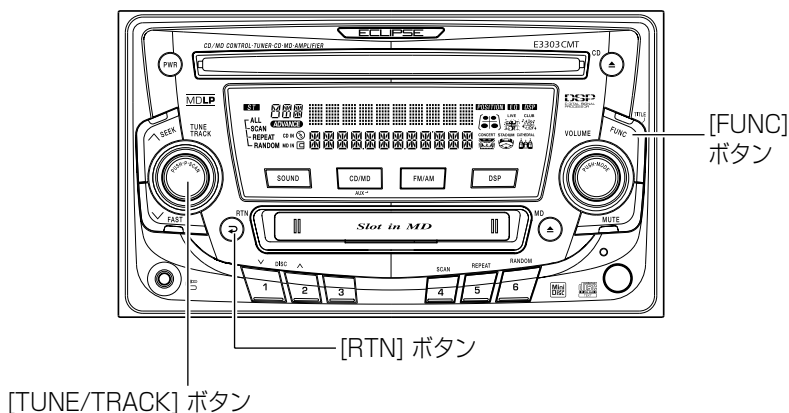
ワンポイント

ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



ファンクションモードでの設定

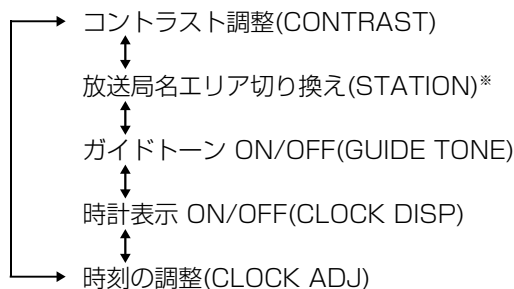
さまざまな設定を変更できます。

1 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

[TUNE/TRACK]ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※ラジオ操作時以外は設定できません。
(詳細はラジオの操作32ページを参照してください。)

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各調整モードに切り換わります。

コントラスト調整

表示部を見る角度にあわせて、表示部のコントラストを見易く調整できる機能です。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し調整する

右に回す …………… レベルが上がる

左に回す …………… レベルが下がる

2 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

ガイドトーン ON/OFF

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しON/OFFを切り換える

2 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

時計表示 ON/OFF

時計表示のON/OFFを切り換えます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しON/OFFを切り換える

2 [RTN] ボタンを押す

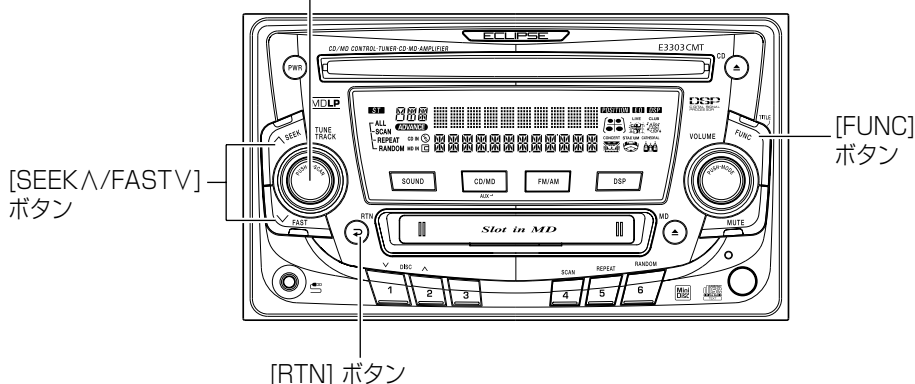
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

[TUNE/TRACK]ボタン



時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

- ❶ [TUNE/TRACK] ボタンを回し調整する項目を選択する
ボタンを回すたびに、時、分、正時が切り換わります。
- ❷ [SEEK-/FASTV] ボタンを押して、調整する
[SEEK-] ボタン……………選択されている時間または分が増える
[FASTV] ボタン……………選択されている時間または分が減る



ワンポイント

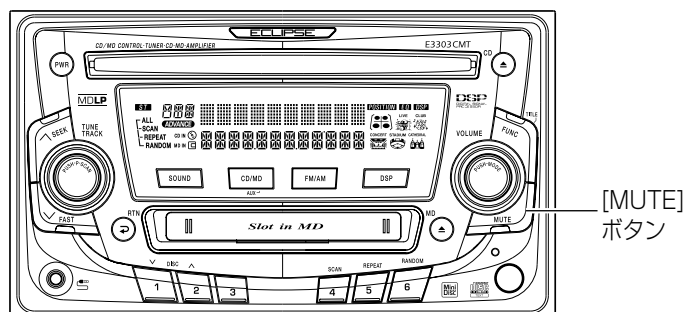
00分00秒(正時)に時計を合わせる時は、30分単位で次のように切り換わります。

例)

3 : 29 → [SEEK-/FASTV] ボタン → 3 : 00

3 : 30 → [SEEK-/FASTV] ボタン → 4 : 00

- ❸ [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- ❹ [FUNC] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(❸の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



[MUTE]
ボタン

テレフォンミュートの切り換え

(別売りのハンズフリーユニット接続時のみ)

[MUTE] ボタンを短く (1 秒未満) 押すことでテレフォンミュートの ON/OFF を切り換えることができます。

1 [MUTE] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

ボタンを押すごとに ON/OFF が切り換わります。

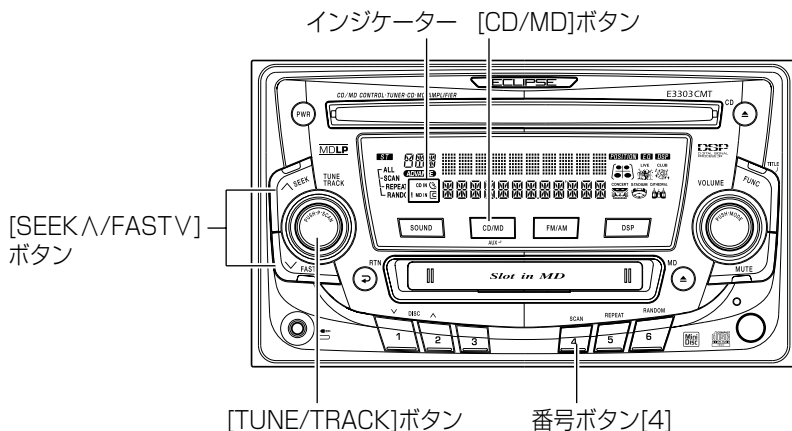


警告

自動車の運転中に設定切り換え等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

CD部/MD部の操作

ここでの操作は、すでにCDやMDが挿入されていることを前提に説明します。特に指定がない場合、操作はCD、MDで共通しています。



CD/MDを聞く

1 [CD/MD]ボタンを短く(1秒未満)押して、CDモードまたはMDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD]ボタンを押すごとに、CDプレーヤ(CDP)→ CDチェンジャー(CDC)→ MDプレーヤ(MDP)→ MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない場合は、その機器を飛ばして切り換わります。

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーを接続している場合は、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作(58ページ)を参照してください。



ワンポイント

CDが挿入されているときは表示部に「CD IN」と、MDが挿入されているときは「MD IN」とインジケーターが点灯します。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す …… 次の曲に進む

左に回す …… 演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しつづける

[SEEK∧]ボタン …… 早送りする

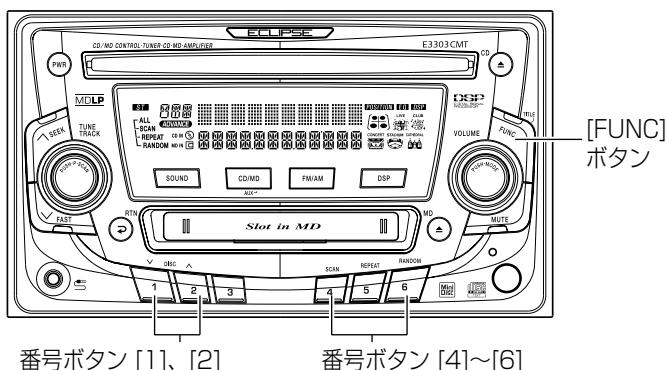
[FASTV]ボタン …… 早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN)^{スキャン}

1 番号ボタン[4(SCAN)]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4(SCAN)]を押すと解除されます。



番号ボタン [1]、[2]

番号ボタン [4]～[6]

繰り返し演奏する(リピート REPEAT)

1 番号ボタン[5(REPEAT)]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5(REPEAT)]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する(ランダム RANDOM)

1 番号ボタン[6(RANDOM)]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

再度番号ボタン[6(RANDOM)]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・ RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

MDLPモードでグループ編集されたMDの操作

MDLPモードのグループ編集機能で、グループに分けて録音されたMDの場合、次のような操作をすることができます。(ただし、編集・録音された機器によって、動作しないことがあります。)

次のグループに進む/前のグループに戻る

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] ……前のグループに戻る

番号ボタン[2] ……次のグループに進む

曲の始まりを演奏する(グループSCAN)

1 番号ボタン[4(SCAN)]を長めに(2秒以上)押す

「ALL SCAN」と表示され、MD内の全グループの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

繰り返し演奏する(グループREPEAT)

1 番号ボタン[5(REPEAT)]を長めに(2秒以上)押す

「ALL REPEAT」と表示され、演奏中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

曲の順番を変えて演奏する(グループRANDOM)

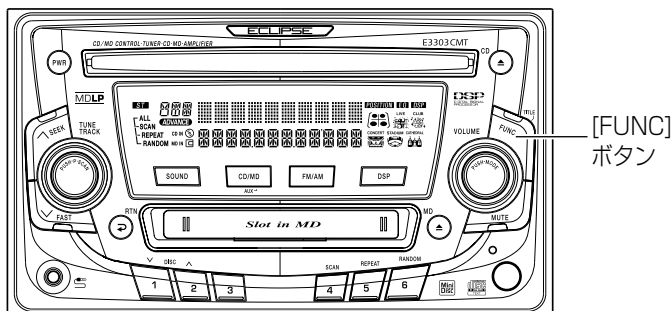
1 番号ボタン[6(RANDOM)]を長めに(2秒以上)押す

「RANDOM」と表示され、演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。



ワンポイント

- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える

CD TEXT、MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大10文字まで表示されます。

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

1 [FUNC] ボタンを長めに(2秒以上)押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。

時計表示OFFの場合	ディスクタイトル/トラックタイトル* → トラックタイトル
時計表示ONの場合	ディスクタイトル/トラックタイトル* → 時計

※ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

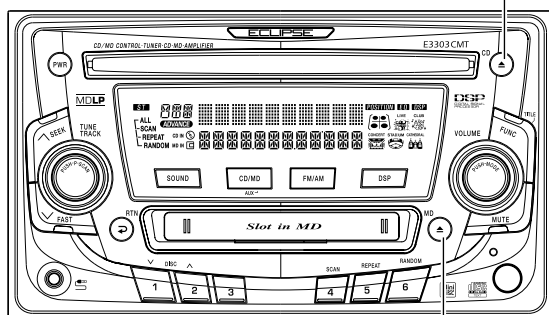
トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部にCD TEXT,MDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

[▲(CDイジェクト)] ボタン



[▲(MDイジェクト)]ボタン

ディスクを取り出す

1 [▲(イジェクト)]ボタンを押す

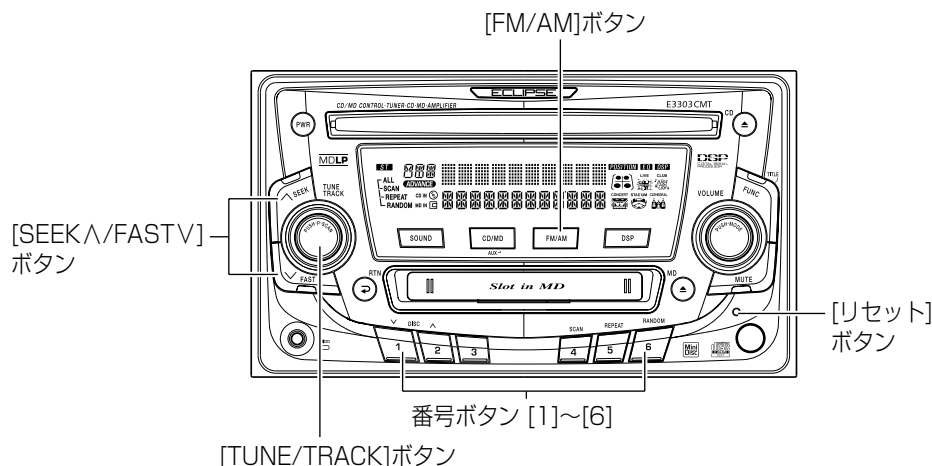
挿入されていたディスクが排出されます。

[▲(CDイジェクト)]ボタン ……………CDが排出される

[▲(MDイジェクト)]ボタン ……………MDが排出される

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶できます。
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶できます。



ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信できます。

1 [FM/AM] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM] ボタンを押してFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [SEEK△/FASTV] ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[SEEK△]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[FASTV]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(2秒以上)押す

「ASM ON」と表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよび[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回して記憶させる周波数に合わせる

2 任意の番号ボタン[1]～[6]を長めに(2秒以上)押す

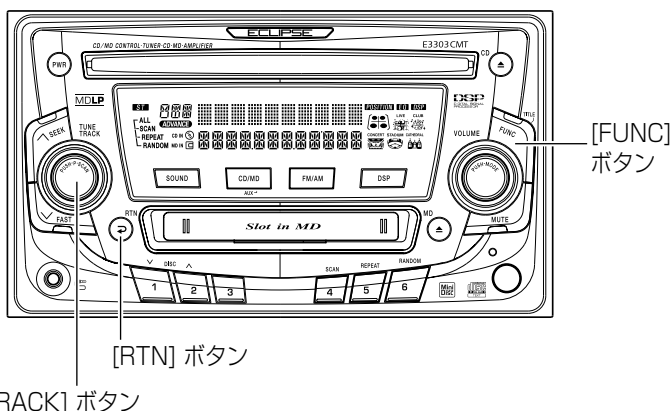
選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよび[リセット]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

- [TUNE/TRACK] ボタンを短く (1秒未満) 押す**
プリセットスキャンが始まります。
周波数とプリセットチャンネルが表示されます。
- 再度 [TUNE/TRACK] ボタンを短く (1秒未満) 押す**
通常の状態に戻ります。

放送局名を表示する

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。

放送局名のエリアを設定する

表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

- [FUNC] ボタンを押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- [TUNE/TRACK] ボタンを回し「STATION」を選択する**

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

放送局名表示モードに切り換わります。

4 [TUNE/TRACK]ボタンを回し使用するエリアを選択する

ボタンを回すごとに、次の順に切り換わります。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

5 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**5**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)



注意

以下の点にご注意ください。

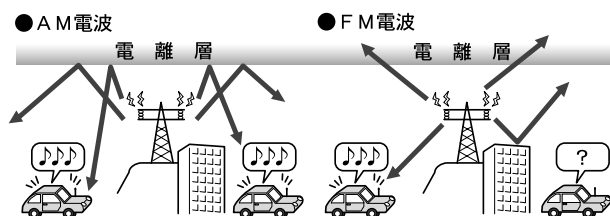
- ・500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- ・本機の放送局名データは、平成14年1月1日現在のものです。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

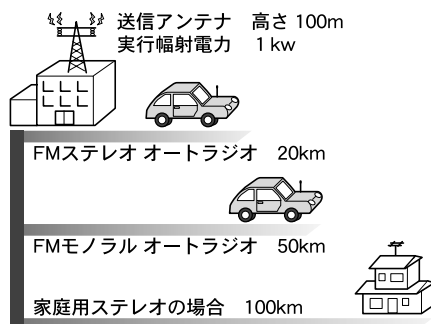
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

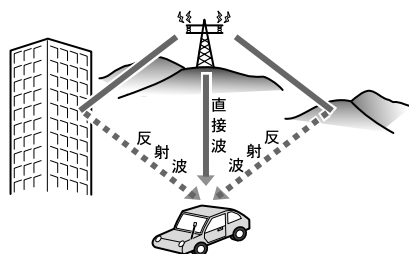


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



DSP/サウンド調整モードの操作

サウンド調整モードについて

本機は車室内の音響特性を補正するための各種機能を持っています。サウンド調整モードには通常モード、ADVANCEモードの2種類の調整モードがあり、それぞれのモードで以下の項目が調整できます。

	通常モード	ADVANCEモード	参照ページ
ポジションセクタ	○	○	P43
DSP	○	×	P44
フェーズ	○	○	P44、57
グラフィックイコライザ	×	○	P47
パラメトリックイコライザ	×	○	P50
簡易タイムアライメント	×	○	P51
クロスオーバー	×	○	P56
Bass/Treble	○	×	P20

ポジションセクタ

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では、4種類のポジションを設定できます。

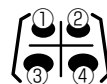
FRONT(前席) …………… ① ②

F RIGHT(前席右側) … ②

F LEFT(前席左側) …… ①

REAR(後席)…………… ③ ④

POSITION



DSP

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。

本機では5つのルームサイズが用意されています。

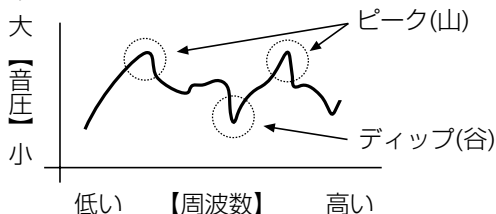


グラフィックイコライザ

グラフィックイコライザは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせてあらかじめ設定されたイコライザモード(6種類)を選択したり、各モードの詳細を調整することができます。

パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク(山)やディップ(谷)ができていたりしています。

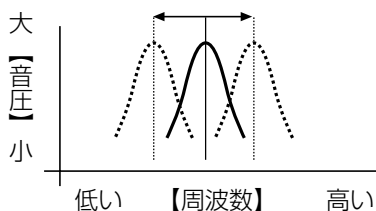


これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。

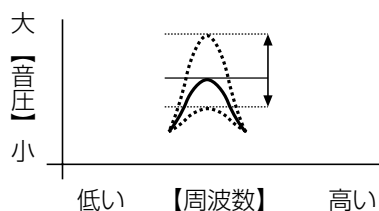
そこで、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

【パラメトリックイコライザの特徴】

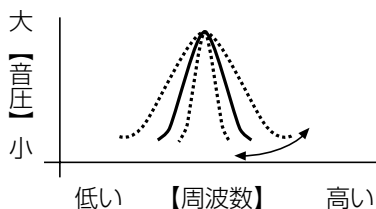
①. 中心周波数を可変できる。



②. ゲインを可変できる。



③. Q(鋭度／帯域幅)を可変できる。



本機では、13バンドのグラフィック・イコライザに加え、1バンドのパラメトリック・イコライザを内蔵しており、グラフィック・イコライザだけでは調整しきれないポイントを、さらに1バンドのパラメトリック・イコライザを使って補正することが可能です。

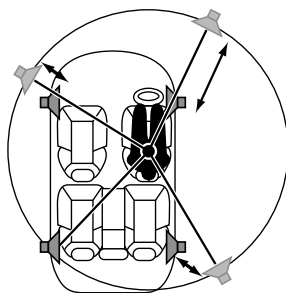
簡易タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違ふことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる(片寄り)・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。

この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。

基本的な調整方法は、各スピーカーまでの距離を実際に測定し、一番遠いスピーカーとの距離差を算出することで、各スピーカーからの音の遅延時間を決定します。

本機では、簡易タイムアライメント機能を搭載しており、4項目(ポジションセレクト／車種／ツイータの設定／リアスピーカーの位置設定)を設定するだけで、実際にスピーカーまでの距離を測定しなくてもタイムアライメントの調整を簡易的に行うことが可能です。



クロスオーバー

CDなどの音楽ソフトに収録されている周波数帯域は、20Hz～20kHzまでと幅広く、1つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。

そこで複数のスピーカーを用意し、それぞれのスピーカーの周波数帯域(低域・中域・高域など)を分割することで広帯域の再生が可能となります。

取り付けるスピーカーユニットやスピーカーレイアウトによって、各スピーカーの受け持つ周波数帯域を分割し、スピーカーの能力を最大限に引き出し、安定した周波数特性を実現し最適な音響空間を再現するための機能が『クロスオーバー』です。

クロスオーバーには高域を再生するためのHPF(ハイパスフィルター)と低域を再生するためのLPF(ローパスフィルター)があります。また、中域を再生するにはHPFとLPFを組み合わせ使用します。



※fc*: カットオフ周波数

例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数は全く再生されないわけではなく、徐々に減衰していきます。この減衰特性を調整する機能が『スロープ』調整です。

フィルターのスロープ特性は、スロープの数値が大きい(例えば 12dB/octなど)ほど、傾きが急になり隣の帯域からの音の混ざりが少なくなり、狙った帯域だけを再生することができますが、各スピーカー間の音のつながりが悪くなったり、歪みが発生する場合があります。

本機では、フロントスピーカーとリアスピーカー、必要に応じてウーファを追加する基本的なスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは、フロント・リアスピーカーはHPF、ウーファはLPFを調整することにより、フロント、またはリアスピーカーとウーファの音のつながりをよくすることができます。

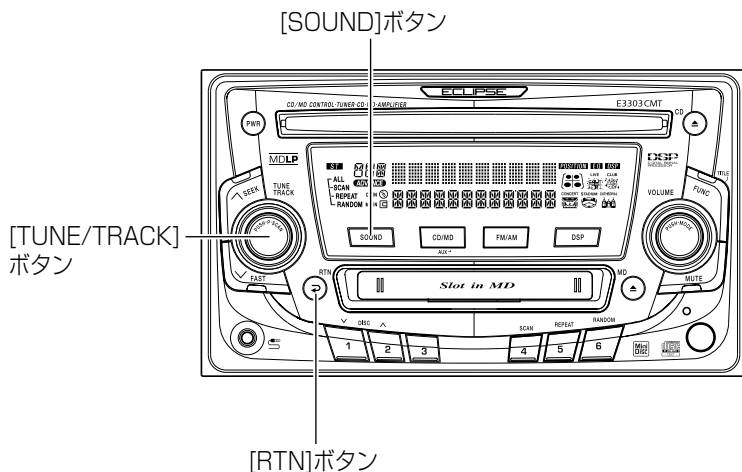
※ウーファを接続しないシステムでは、スロープ調整を『PASS』にして下さい(スロープを12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されてしまいます)



※fc*: カットオフ周波数

- ◆クロスオーバーとは、特定の周波数帯域を分割するフィルターの事です。
- ◆HPF(ハイパスフィルター)とは、設定された周波数より低い周波数(低域)をカットし、高い周波数(高域)を通すフィルターです。
- ◆LPF(ローパスフィルター)とは、設定された周波数より高い周波数(高域)をカットし、低い周波数(低域)を通すフィルターです。
- ◆スロープとは、周波数が1オクターブ高く、または低くなったときに減衰する信号レベルです。

数値が大きくなるほど傾きは急になります。また、PASSを選択すると傾きがなくなる(フィルターを通過しない)ため、効果が得られません。



サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND]ボタンを押す

[SOUND]ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード↔ADVANCEモードへ切り換わります。

サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

サウンド調整モード(通常モード)での操作

1 [SOUND]ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(通常モード)に切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

POSITION(ポジションセレクタの設定)



NON-FADER(フェーズの切り換え)

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

ポジションセレクトの設定 (POSITION)

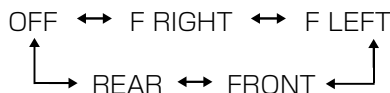
座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。選択した POSITION モードに合わせてポジションセレクトのインジケーターが点灯します。

FRONT (前席) ① ②
 F RIGHT (前席右側) ... ②
 F LEFT (前席左側) ①
 REAR (後席) ③ ④
 OFF (解除) なし



1 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

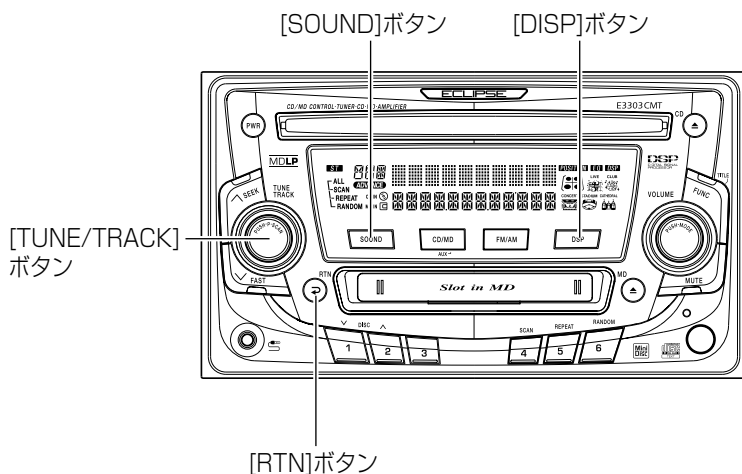
3 [SOUND] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2 の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ポジションセレクトを設定 (OFF 以外) すると BALANCE/FADER はキャンセルされます。



フェーズの切り換え(NON-FADER)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善できます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し正相(NORMAL)、逆相(REVERSE)を選択する**
- 2 [RTN]ボタンを押す**
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [SOUND]ボタンを押す**

サウンド調整モードが解除されます。

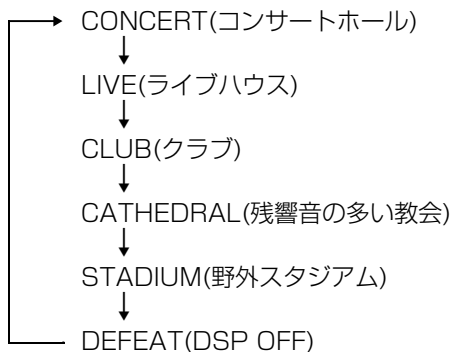
(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。

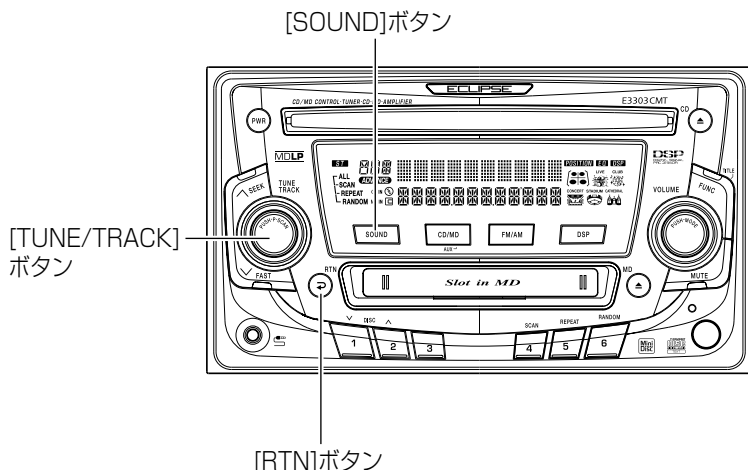
1 [DSP]ボタンを押す

[DSP]ボタンを押すごとに、DSPモードが次の順に切り換わります。



- ・各モードのレベルは調整できません。
- ・サウンド調整モードがADVANCEモードを選択している時は、DSPモードを切り換えることができません。
- ・選択したDSPモードに合わせてインジケーターが点灯します。





サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND]ボタンを押す

[SOUND]ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード↔ADVANCEモードへ切り換わります。

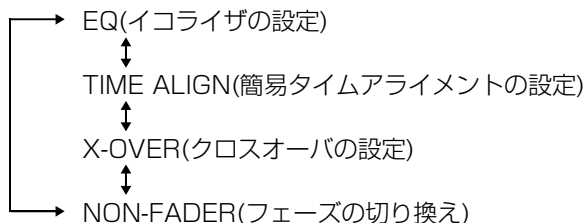
サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

サウンド調整モード(ADVANCEモード)での操作

1 [SOUND]ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(ADVANCEモード)に切り換わります。

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する



ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

イコライザの設定(EQ)

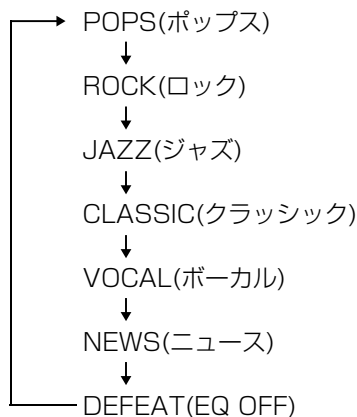
EQ(イコライザ)は、再生する音楽ジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、好みに合わせた音質で音楽を楽しむことができます。また、車室内の周波数特性を13バンドのイコライザにより補正することも可能です。

イコライザモードを切り換える

イコライザモードを切り換えます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、イコライザモードが次の順に切り換わります。



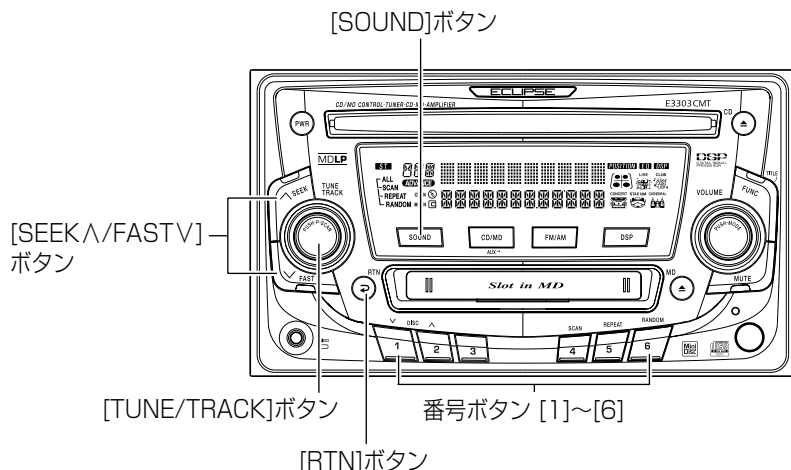
2 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



各イコライザモードの詳細を調整する

各イコライザの詳細を調整します。

- 1 イコライザモードを選択後、[TUNE/TRACK]ボタンを回し調整する周波数を切り換える**

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 100Hz ↔ 160Hz ↔ 250Hz ↔ 400Hz ↔
 630Hz ↔ 1kHz ↔ 1.6kHz ↔ 2.5kHz ↔ 4kHz ↔ 6.3kHz
 ↔ 10kHz ↔ 16kHz ↔

- 2 [SEEK^/FASTV]ボタンを押す**

各周波数のレベルを調整します。

[SEEK^]ボタン ……………大きくなる

[FASTV]ボタン ……………小さくなる

- 3 記憶させる[番号ボタン]を長めに(2秒以上)押す**

調整したレベルが記憶されます。

- 4 [RTN]ボタンを押す**

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

- 5 [SOUND]ボタンを押す**

サウンド調整モードが解除されます。

(4の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回しEQを選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

3 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。

4 [RTN] ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ワンポイント

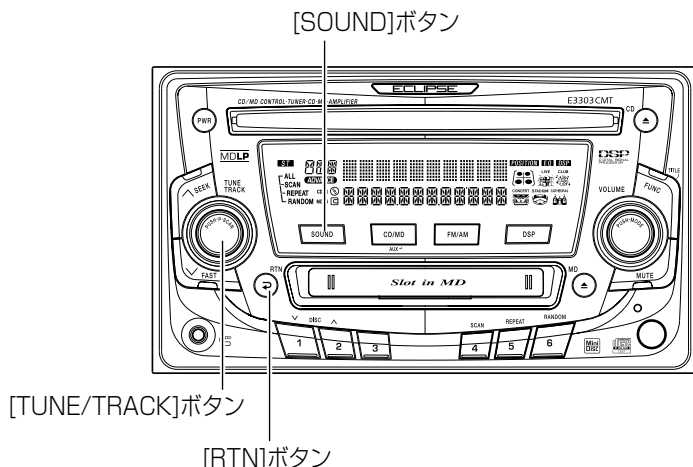
プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは

「USER ○」



1～6 (プリセット番号)

と表示されます。



パラメトリックイコライザの詳細を調整する

パラメトリックイコライザ(1バンド)の周波数を選択、調整を行います。



以降の操作をすると、それまで設定されていたパラメトリックイコライザは更新されます。

- 1 設定項目のEQを選択し、[TUNE/TRACK]ボタンを長めに(1秒以上)押す**
 パラメトリックイコライザ調整モードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK]ボタンを回し、パラメトリックイコライザに設定する周波数を切り換える**
 ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
 80Hz ↔ 125Hz ↔ 200Hz ↔ 315Hz ↔ 500Hz ↔ 800Hz ↔ 1.25kHz ↔ 2kHz ↔ 3.15kHz ↔ 5kHz ↔ 8kHz ↔ 12.5kHz ↔
- 3 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す**
 各周波数のレベルを調整します。
 [SEEK∧]ボタン …………… 大きくなる
 [FASTV]ボタン …………… 小さくなる
- 4 [TUNE/TRACK]ボタンを短く(1秒未満)押す**
 ボタンを押すごとにQカーブパターンが次の順に切り換わります。

Q1(SLOW) → Q2(Normal) → Q3(Sharp)

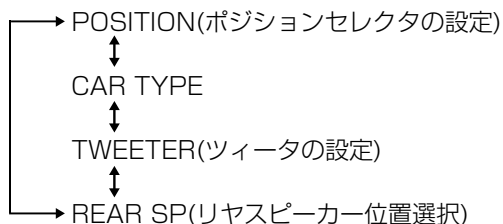


- 5** [TUNE/TRACK]ボタンを長めに(1秒以上)押す
イコライザモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [RTN]ボタンを押す
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 7** [SOUND]ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**5**、**6**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

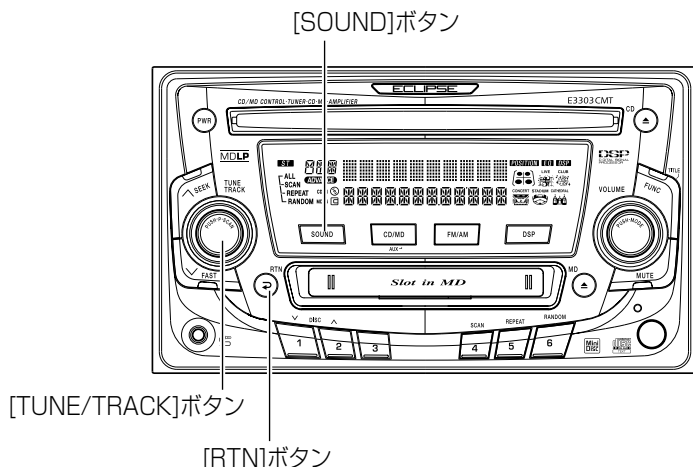
簡易タイムアライメントの設定(TIME ALIGN)

各スピーカーから出力される信号を遅延し、各スピーカーから聴取位置までの到達時間を合わせることで、位置特性、周波数特性を補正する機能です。

- 1** [TUNE/TRACK]ボタンを回し設定項目を選択する
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



- 2** [TUNE/TRACK]ボタンを短く(1秒未満)押す
各設定モードに切り換わります。



ポジションセクタの設定(POSITION)

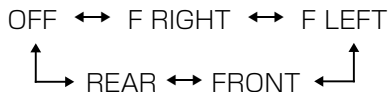
座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。選択した POSITIONモードに合わせてポジションセクタのインジケーターが点灯します。

- FRONT(前席) ① ②
- F RIGHT(前席右側) ... ②
- F LEFT(前席左側) ①
- REAR(後席)..... ③ ④
- OFF(解除) なし



1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN]ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2、3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



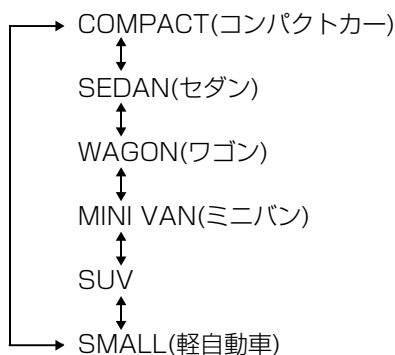
ポジションセクタを設定(OFF以外)するとBALANCE/FADERはキャンセルされます。

車種の選択(CAR TYPE)

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中から車種に合ったものを選択することで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回し車種を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [RTN]ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

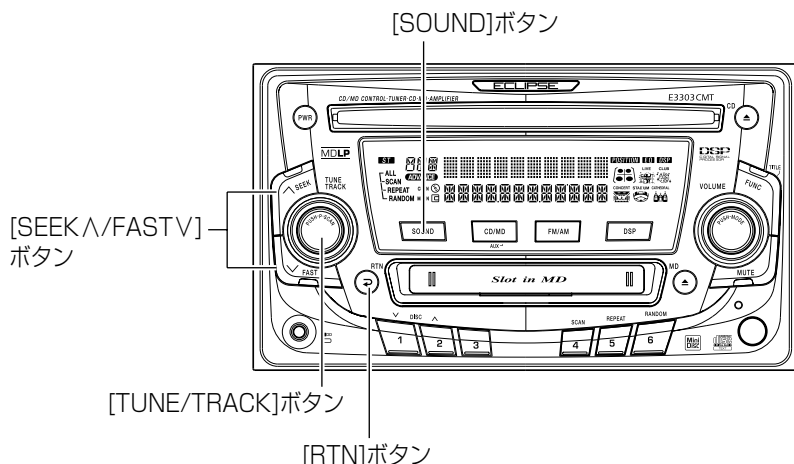
3 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**2**、**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)

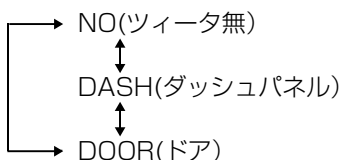


ツィータの設定(TWEETER)

ツィータの設置場所、ツィータの有無を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

❶ [TUNE/TRACK]ボタンを回しツィータの設置場所、ツィータの有無を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



❷ [RTN]ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

❸ [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

❹ [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(❷、❸の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



フロントスピーカーがダッシュパネルに取り付けられている場合、ツィータを取り付けていなくてもツィータ設定をDASHにすると効果的です。

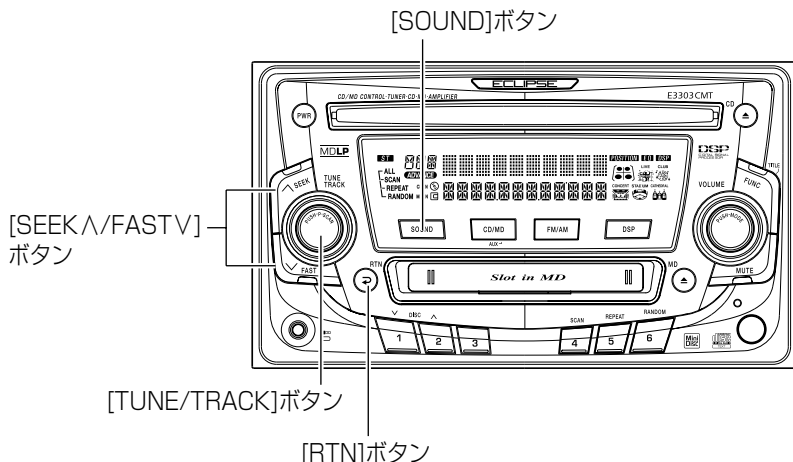
リヤスピーカー位置選択(REAR SP)

リヤスピーカーの設置場所を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

- 1 [TUNE/TRACK]ボタンを回しリヤスピーカーの設置場所選択する**
ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

DOOR(ドア) ↔ OTHERS(その他)

- 2 [RTN]ボタンを押す**
タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。
- 3 [RTN]ボタンを押す**
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]ボタンを押す**
サウンド調整モードが解除されます。
(**2**、**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



クロスオーバーの設定(X-OVER)

フロント・リヤスピーカーのHPF(ハイパスフィルター)／ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz～200Hzの範囲で選択できます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

❶ [TUNE/TRACK]ボタンを回しカットオフ周波数を選択する

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz

❷ [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しスロープを設定する

[SEEK∧]ボタン ……………PASS

[FASTV]ボタン ……………12dB/oct



ワンポイント

ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

❸ [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

❹ [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(❸の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

NON-FADER フェーズの切り換え(NON-FADER)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善できます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し正相(NORMAL)、逆相(REVERSE)を選択する

2 [RTN]ボタンを押す

ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [SOUND]ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**2**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

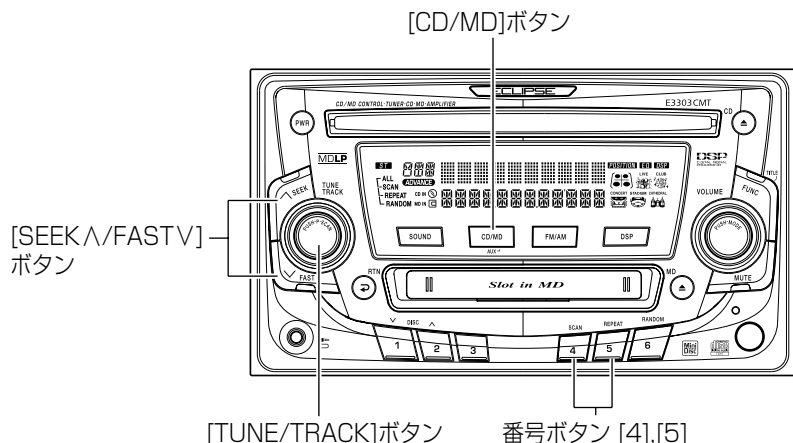
(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作

CDオートチェンジャーおよびMDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
ラジオから切り換えるときは[CD/MD]ボタンを押してください。

長時間モード(MDLPモード)で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生できません。(無音状態となります)



MDのグループ機能には対応していません。
CD TEXTは表示できません。



ディスクモードに切り換える

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。この時CD→MD、MD→CDといったディスクモードの切り換えは行われません。

1 [CD/MD]ボタンを押して、CDチェンジャーモードまたはMDチェンジャーモードに切り換える

ボタンを押すごとにCDプレーヤ(CDP)→ CDチェンジャー(CDC)→ MDプレーヤ(MDP)→ MDチェンジャー(MDC)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない場合は、その機器を飛ばして切り換わります。



CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押しつづける

[SEEK∧]ボタン ……早送りする

[FASTV]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4(SCAN)]を押す

演奏しているCD,MD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、挿入している全CD,MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4(SCAN)]を押すと解除されます。

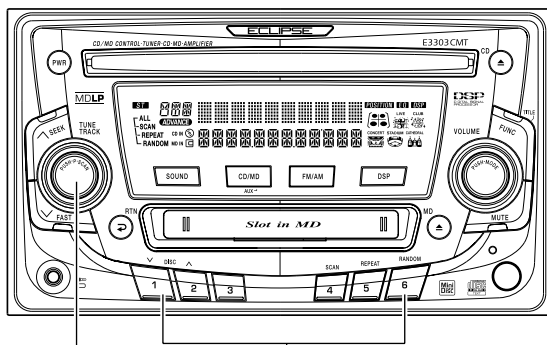
繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン[5(REPEAT)]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD,MD内の全曲を繰り返し再生します。

再度番号ボタン[5(REPEAT)]を押すと解除されます。



[TUNE/TRACK]ボタン 番号ボタン [1]～[6]

曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6(RANDOM)]を押す

演奏中のCD,MD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、挿入している全CD,MD内の曲を順不同に演奏します。

再度番号ボタン[6(RANDOM)]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・ RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・ 次の曲に切り換わる時：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1 番号ボタン[1 (DISC V)]または[2 (DISC A)]を押す

番号ボタン[1 (DISC V)]…………ディスク番号が下のディスクへ移る

番号ボタン[2 (DISC A)]…………ディスク番号が上のディスクへ移る

演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

挿入できるディスク数に合わせ、MDは最高3枚、CDは最高12枚から選択できます。

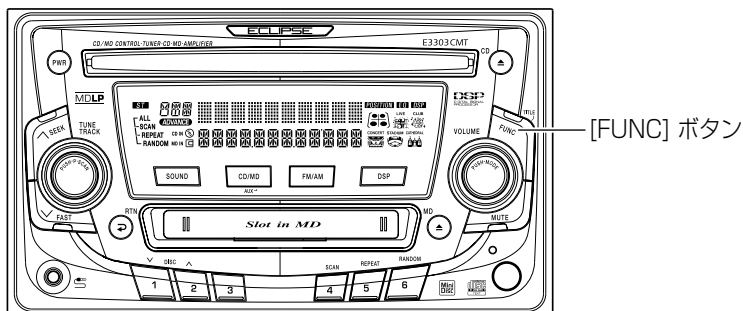
1 [TUNE/TRACK]ボタンを押す

2 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

MDの場合、番号ボタン[1]～[3]までが対応しています。

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスク番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに(2秒以上)押してください。



MD演奏時の表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大10文字まで表示されます。

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

1 [FUNC]ボタンを長めに(2秒以上)押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。

時計表示OFFの場合	ディスクタイトル/トラックタイトル※ → トラックタイトル
時計表示ONの場合	ディスクタイトル/トラックタイトル※ → 時計

※ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- ・本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

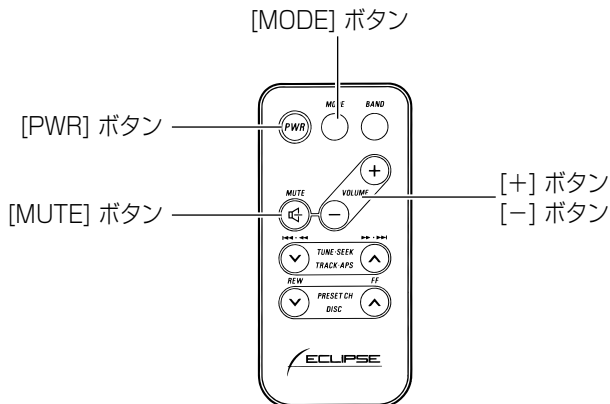
(別売)リモコンの操作

使用上の注意

- ・ リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・ リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・ 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- ・ リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて強くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



電源を入れる/切る

1 [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。



本体の[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押してALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

音量を調節する

1 [+]ボタンまたは[-]ボタンを押す

[+]ボタン ……音量が上がる

[-]ボタン ……音量が下がる

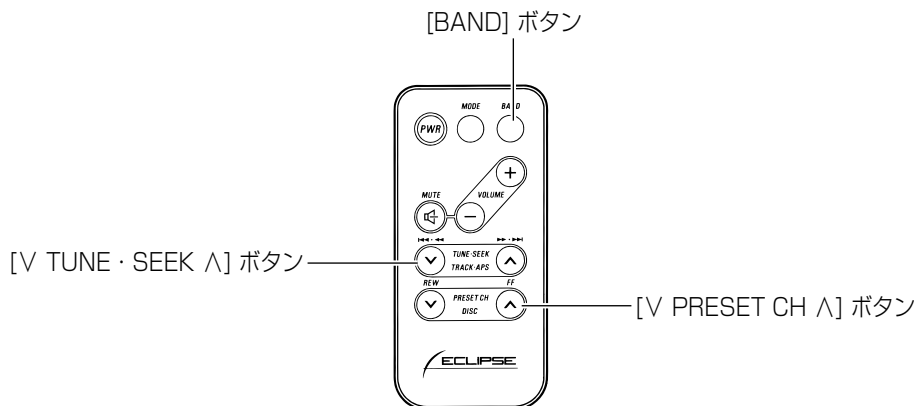
瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すたびに、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

機能を切り換える

1 [MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ラジオ→ディスクモード→AUXの順に切り換わります。



ラジオ利用時の操作

FM/AMを切り換える

1 [BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

1 [V TUNE · SEEK Δ] ボタンを押す

[Δ]ボタン ……周波数の高い方へ選局

[V]ボタン ……周波数の低い方へ選局

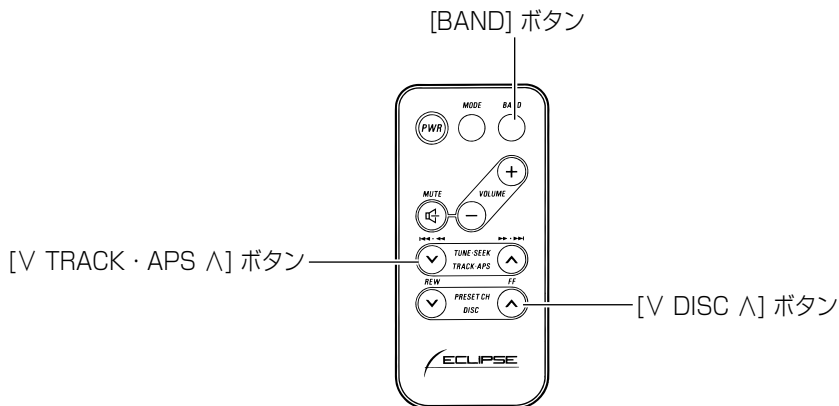
記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。
(「手動で放送局を記憶させる」33ページ参照)

1 [V PRESET CH Δ] ボタンを押す

[Δ]ボタン ……プリセット番号の高い方へ選局

[V]ボタン ……プリセット番号の低い方へ選局



CD、MD利用時の操作

次の曲に進む/曲の頭に戻る

1 [V TRACK · APS Δ] ボタンを押す

[Δ] ボタン …… 次の曲に進む

[V] ボタン …… 演奏中の曲の頭に戻る



ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(Δ方向)または早戻し(V方向)します。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

CD(MD)チェンジャー接続時のみ

1 [V DISC Δ] ボタンを押す

[Δ] ボタン …… ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動

[V] ボタン …… ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

ディスクモードを切り換える

1 [BAND] ボタンを押す

CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、
CDプレーヤー→CDオートチェンジャー→MDプレーヤー→MDチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクが挿入されていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

電池を交換する



事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

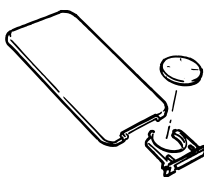
電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

- 1 リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す

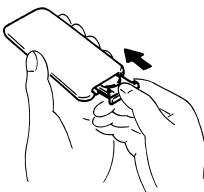


- 2 電池を入れ替える

+表示を上にして電池をセットしてください。

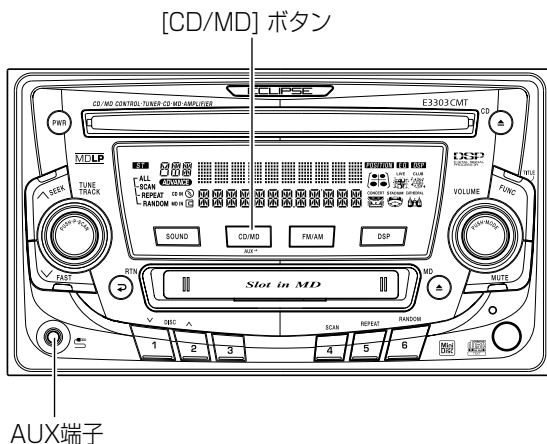


- 3 カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

その他の操作



ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する場合

市販のステレオミニプラグコードを使用して、本機のAUX端子とポータブルオーディオ機器のオーディオ出力(LINE)またはヘッドフォン端子を接続してください。

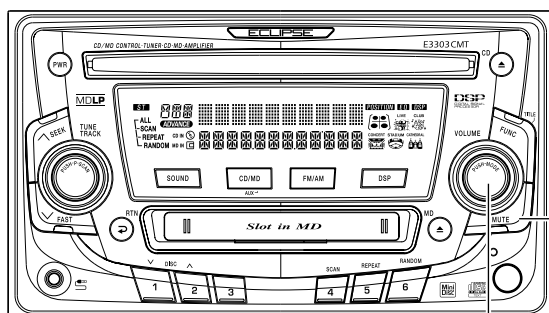
- 1** 接続したポータブルオーディオ機器の電源を入れ、再生状態にする
- 2** [CD/MD] ボタンを長めに(2秒以上)押してAUXモードに切り換える

AUXモードに切り換わると「AUX」と表示され、接続されたオーディオ機器の再生音がスピーカーから出力されます。



ワンポイント

- ・AUXモードに切り換えてからポータブルオーディオ機器の電源を切り換えたり、プラグコードを抜き挿しすると、ノイズが発生しスピーカー破損の原因となる場合がありますので、必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り換えてから行ってください。
- ・接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- ・ポータブルオーディオ機器を車載でご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、車載での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。



[MUTE] ボタン

[オーディオコントロール]ボタン

(別売)ハンズフリーユニット(E301HF)を組み合せる場合

ハンズフリーユニットに接続された携帯電話の着信音に反応して自動的に演奏中の音楽ソースが停止し、左フロントスピーカーから電話の音が出力されます。(ただし、オート着信機能のある電話機のみ)(25ページ参照)

- ・着信しても自動的にテレフォンモードに切り換わらない場合は、[MUTE] ボタンを短く(1秒未満)押すとテレフォンモードに切り換わります。
- ・通話が完了(電話を切る)しても、自動的に元の音楽ソースには復帰しません。

[MUTE]ボタンを短く(1秒未満)押してテレフォンモードを解除してください。



ワンポイント

- ・テレフォンモード中の音量調整は、その他のモードとは別に調整されるためテレフォンモードを解除すると元の音量で演奏を開始します。
- ・相手の声が聞こえにくい場合は、[オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。(初期値は40)
※音量を大きくしすぎると、スピーカーから不快な音(ハウリング)がでたり、相手に自分の声が遅れて聞こえたりしますので適度な音量でご使用ください。

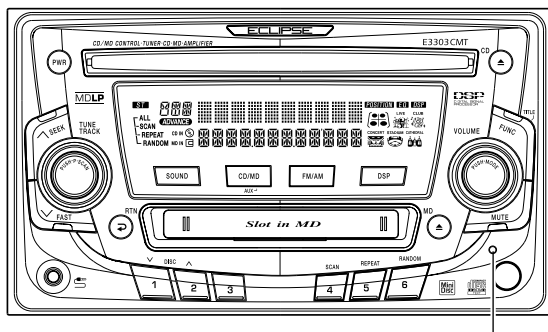
その他の注意事項は、ハンズフリーユニット(E301HF)の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[リセット]ボタンを押してください。



[リセット]ボタン

[リセット]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

インフォメーションが点滅する

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出ししてください。

※この内容は、MDのみ適用されます。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共 通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	19
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	19
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	20
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	33
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	23

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	32
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	32
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けしないでください。	10
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	10、 11
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	—
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	9
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて点 検を行ってください。	—

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐに排出される。	ディスクカートリッ ジの向きに誤りは一 りませんか。	正しい向きにセット し直してください。	17
		ディスクカートリッ ジのラベルがはがれか かっていますか。	ディスクカートリッ ジのラベルを整えて ください。	13
		ディスクカートリッ ジに変形や破損箇所 はありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 変形や破損したディ スクは、ご使用にな らないでください。	—
		無録音のディスクを 使用していませんか。	録音済みのディスク をご使用ください。	—
	ディスクが排出で きない。 ディスクチェンジ ができない。	ディスクカートリッ ジに変形や破損箇所 はありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 変形や破損したディ スクは、ご使用にな らないでください。	—
		ディスクカートリッ ジのラベルがはがれ かかっていますか。	ディスクカートリッ ジのラベルを整えて ください。 排出できない場合 は、ご購入の販売店 にて点検を行ってくだ さい。	13
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。 取付け角度は適正で すか。	他のディスクに入れ 替えてください。 キズのあるディ スクは、ご使用にな らないでください。	—
		取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて点 検を行ってください。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	9
		その他、録音に使用 された機器の調子が 悪い、録音ソース (CD、MDなど)の 音質やトラブルなど が考えられます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってくださ い。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 μ V(S/N20dB時)

AUX部

入力端子	前面パネル ϕ 3.5ステレオミニジャック
入力インピーダンス	10K Ω
最大入力	240mVrms

共通部

周波数特性	20Hz～20kHz
S/N比	108dB(IHF-Aネットワーク)
調整周波数	アドバンス OFF Bass 80Hz TREBLE 10kHz ±12dB
	アドバンス ON GEQ 63Hz, 100Hz, 160Hz, (13バンド) 250Hz, 400Hz, 630Hz, 1kHz, 1.6kHz, 2.5kHz, 4kHz, 6.3kHz, 10kHz, 16kHz PEQ 80～12.5kHz, 2/3oct (1バンド) ステップ ±10dB チャンネルデバイダ クロスポイント周波数 63～200Hz, 1/3oct ステップ スロープ 12dB/oct
ラウドネス	・ 100Hz+10dB ・ 10kHz+6dB
最大出力	50W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	330mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用
消費電流	0.5W×4出力時 約2A、最大約12A
寸 法	178mm(幅)×100mm(高さ)×165mm(奥行)
重 量	本体約2.2kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

1.この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(70ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。

◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。

◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。

保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。

※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4.出張による修理、点検は行っておりません。

5.この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

＜商品に関するお問い合わせ先＞ アフターサービスについて

＜商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ＞

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105)	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081(代表)

090002-2562A700
0303 (Y)